

11月1日（水）1年を対象に琴（箏）の体験授業が行われました。これは、旭川市教育委員会が行っている「伝統文化体験事業」の取組で、本校も毎年講師の方を派遣してもらい、1年生を対象に和楽器の体験学習をおこなっています。旭川三曲協会から、3名の講師の方が来校し、琴のセッティング、琴の歴史やしくみについての説明や引き方の指導をしていただき、授業の終盤には、生徒達は皆上手に「さくら」を演奏することができました。最後に、講師3名による合奏で、生徒もよく知っている「鬼滅の刃」の挿入曲である「炭治郎の歌」を演奏してくれました。生徒達は、芸術の秋にふさわしい、琴の音色を堪能していました。ご来校いただいた3名の講師の皆様、丁寧なご指導まことにありがとうございました。



生徒感想より

○初めて琴を演奏して、最初は不安もありましたが、だんだんコツがわかり、先生や講師の方のおかげで楽しく演奏することができました。琴の実演を初めて聴いて、美しさや強さも感じられ、とても感動しました。次に機会があればこの感動を忘れずに演奏したいです。

○今回、初めて琴に触れてみて、音色の美しさや弾く難しさを実感することができました。今後、琴の演奏を聴く機会があったら、いままでと違う気持ちで音色をたのしめるのかな、と思いました。

○琴という楽器は何となく知っているくらいだったが、古くからの歴史があり、いざ弾いてみると最初は慣れなかったが、たまにいい音が鳴るとその分楽しくもう一回鳴らしたくなった。短い時間だったが充実した楽しい時間だった。もっと昔の楽器を知りたいと思ったし、弾いてみたいと思った。

○琴は難しいイメージがあり不安でしたが、ていねいに教えてもらって、意外に弾くことができ楽しかったです。最後に「炭治郎の歌」は迫力があるところがあり。すごいと思いました。YouTube等でもっと聞いてみようと思いました。